



(地方創生拠点整備交付金事業)

上牧町まち・ひと・しごと再生モデル  
事業  
実施報告書

令和6年3月  
上牧町



## 内容

1. 事業実施の趣旨・目的.....	3
2. まち・ひと・しごと再生モデル事業 概要.....	3
3. 整備前及び整備後の様子.....	4
4. 活用状況 .....	6
5. 事業実績及び取り組み評価.....	7
6. 今後の課題 .....	8



## 1. 事業実施の趣旨・目的

現在、全国的な課題となっている少子高齢化の進行に伴い、地域コミュニティの衰退、空き家の増加が深刻化している本町において、持続可能なまちづくりを推進するにあたっては、若者世代の人口減少による担い手不足が大きな課題となっており、そうした課題を解消するため、高齢者が多世代と交流しながら、活躍する場と機会を創出できる環境が必要であると考えます。そこで、町内空き家を活用し、子どもから若者、子育て世代、アクティブなシニア世代まであらゆる世代が交流・協働できる新たなコミュニティの拠点を整備し、地域の再生・活性化を図ることで、若者世代を中心とした生産年齢人口の減少に歯止めをかけるとともに、モデル事業として空き家の利活用促進につなげることを目的とするものです。

## 2. まち・ひと・しごと再生モデル事業 概要

### 整備概要

- 整備場所 . . . . . 上牧町下牧2丁目11番4号（地番 2丁目468-1）
- 敷地面積 . . . . . 423.14 m<sup>2</sup>
- 延べ床面積（実寸） . . . 1階132.01 m<sup>2</sup> 2階71.54 m<sup>2</sup>（※利用できるのは1階部分のみ）
- 工事実施期間 . . . . . 令和元年6月19日から11月26日まで（小屋解体含む）
- 総事業費 . . . . . 26,381,500円
- 財源 . . . . . 地方創生拠点整備交付金（対象経費に対し、補助率50%）
- 用途 . . . . . 地域住民が幅広く活用できる多目的施設とする。

（※）例：歴史ガイド養成講座の受講者が実施主体となって、笹ゆり回廊の観光ツアーを企画した場合に、片岡城跡から徒歩5分の立地を生かして、休憩や上牧町の紹介をする中継地点として利用する。

### ◆ 「まち」の再生

本施設を活用した空き家の再生モデル事業拠点として整備する。

### ◆ 「ひと」の再生

高齢者の有する知識や能力、意欲を生かしながら地域の担い手を育成するため、町内の事業者（農業を含む）や起業希望者、生涯学習講座の受講者などの自立的活動を支援するとともに、地域産業の再生などを図ることを目的に実施するイベント、セミナー、試験的利用、多世代交流、集いの場として活用する。

### ◆ 「しごと」の再生

地域産業等における担い手の確保・育成の場として本施設を活用し、試験的利用や実験、研修、交流、講座（またはセミナー）などに利用することにより、地域産業等の担い手の育成や新たなアイデアや魅力の創出につなげる。



### 3. 整備前及び整備後の様子

整備前外観写真



整備前内観写真



(内観①／コミュニティスペース)



(内観②／コミュニティスペース)



(内観③／コミュニティスペース)



(内観④／多目的スペース)



整備後外観写真



整備後内観写真



(内観①／コミュニティスペース)



(内観②／コミュニティスペース)



(内観③／コミュニティスペース)



(内観④／多目的スペース)



## 4. 活用状況

### ① ささゆり回廊の休憩スポット

- ・ 休憩所及びトイレ

夏季5～10月 午前8時～午後8時まで

冬季11月～翌4月 午前8時～午後6時まで

- ・ 片岡城の資料等展示

### ② 貸館の利用状況

令和2年度 6回

- ・ ささゆりウォーク

令和3年度 12回

- ・ 片岡城址盛り上げ隊
- ・ 生活支援サポーター
- ・ ひまわりウォーク

令和4年度 10回

- ・ 歴史ガイドボランティア養成講座
- ・ 奈良ウォーキング協会イベント
- ・ 片岡城址盛り上げ隊



R3.8.7 ひまわりウォーク



R3.11.16 社会教育委研修(片岡城跡学習)



R3.11.21 ジュニアリーダー歴史散策



## 5. 事業実績及び取り組み評価

①地方創生拠点整備交付金実施計画における KPI（重要業績評価指標）

➤ 起業者による町内空き家の活件数 5 件（【累計】令和 5 年度終了時点）

実績 0 件（令和 4 年度終了時点）

➤ 整備施設の利用件数 140 件（令和 5 年度年間利用件数）

実績 28 件（令和 4 年度終了時点）

➤ 本事業に基づく新規起業者の数（就農含む） 7 人（【累計】令和 5 年度終了時点）

実績 0 件（令和 4 年度終了時点）

②取り組み評価

数少ない観光スポットである片岡城跡やささゆり回廊を訪れた方の休憩スポットとして活用されていますが、貸館の件数は伸び悩んでいます。

A. 推進できている

B. 推進できているが、課題がある

C. 推進できてない

## 6. 実績報告・検証

令和 5 年度上牧町総合計画等外部検証委員会（第 3 回）

【日 時】令和 6 年 1 月 23 日（火）9 時 30 分～12 時 00 分

【出席者】（50 音順）

【委員意見】

- ・鍵の貸し借りについて、使用する当日に 2000 年会館で受け取り、その日の間に返却するというのが大変で、借りづらさを感じている。せめて、後日の返却が可能になるような運用を考えてほしい。
- ・人手を省くために、鍵の管理をデジタル化してもよいのではないか。桜ヶ丘自治会が LINE を活用した鍵の管理を行っているので、参考にすればよいと思う。
- ・会議等に使える場所が、これだけ整備されているので、普段庁舎に来ない若い世代にも活用ができる周知の方法も考えてもらいたい。
- ・駐車場がなく、利用しにくいことが考えられるので、近隣の大きな駐車場を保有する店舗等にお願いをして使用させてもらうのも、1つの方法だと思う。



## 7. 今後の課題

本施設は「ほほ笑みサロン片岡」として、令和2年3月に設置条例を制定しました。施設整備後は、本施設の周知・啓発と行政の積極的な活用により、利用者を増やしていくことを想定していましたが、令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、十分な周知・活用は行うことができておりませんでした。

今後につきましては、引き続き片岡城跡から徒歩5分の立地を生かして、笹ゆり回廊のウォーキングイベント時の休憩ポイントや上牧町を紹介する場として利用するなど積極的に活用していきたいと考えております。また、ボランティア団体の活動拠点としての活用や貸館の利用促進に向けて、関係各課と協議を進めていきたいと考えます。